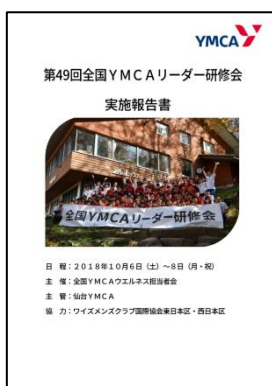


## 西日本区全体で取り組む、ユース育成プログラム

### ・ 2018 年度 日本 YMC A 同盟実施青少年育成プログラム報告

日本 YMC A 同盟が行った下記の 5 プログラムについて、皆様にご協力いただいた Y サ資金による支援をおこないました。報告書が届きましたので、皆様にご紹介致します

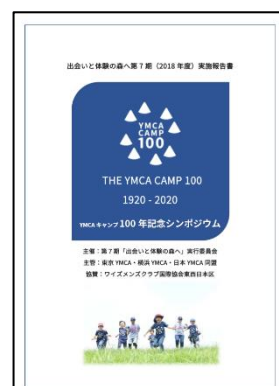
- ①第 49 回全国 YMC A リーダー研修会
- ②第 8 回 YMC A 地球市民育成プロジェクト
- ③キャンプ 100 記念シンポジウム
- ④第 20 回日本 YMC A 大会
- ⑤中日本地区 YMC A グローバル研修会



①



②



③



④



⑤

①②③⑤の報告書は電子データとして、各部長を通じて各クラブにメール配信をお願いしております。内容についてご興味のある方は、クラブ会長からデータをお受け取り下さい。④は、日本 YMC A 同盟の機関誌「THE YMCA」に掲載され、皆様のお手元に直接届いていると思います。また、日本 YMC A 同盟の公式 H P ( <https://www.ymcajapan.org/> ) からご覧いただけます。

西日本区全体としての、YMCA のプログラムを通じた青少年育成への参画です。その意義をご理解いただき、引き続き西日本区 Y サ・ユース事業へのご協力をお願い申し上げます

#### ・2019年 アジア太平洋地域 ユースコンボケーション (AYC) 参加者募集中!

2019年7月17日～21日の5日間、「2019年 アジア太平洋地域ユースコンボケーション(以下AYC)」が開催されます。AYCは、18歳～39歳までのアジア太平洋地域各国のユースが集い、ワークショップに積極的に参加し、各国の現状・文化紹介などを通じて、世界の平和な未来づくりについて話し合うカンファレンスです。アジア太平洋地域各地から集う若者達が共に学び楽しむ事によって、国際的な見識と国境を越えた友情を育む、大いなる成長の場です。さらに、国際から国内各地域のレベルに至る様々な情報に触れる事によって、ワイズメンズクラブやYMCAについての理解を深めていただく機会です。

各部・各クラブにおかれましては、上記の趣旨をご理解の上、参加者をご推薦いただきますようお願い申し上げます。

4月20日現在のクラブ推薦者は3名(京都部1名、九州部2名)です。  
参加ユースには推薦クラブを通じてYサ資金による支援をおこないます。

開催要領については、各部・各クラブへご案内を送付しております。

大会ウェブサイト (<http://ys-asia2019.ne.jp/jp/youth.html>) もご参照下さい。

#### ・JAPAN WEST “Action!” コーナー 情報提供のお願い

西日本区HP上で8月より運用を開始しておりますが、掲載情報を募集中です。皆様のクラブで行っておられるYサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業の情報を当コーナーにお寄せ下さい。

#### ・各部におけるYYYフォーラム開催支援

2019年4月13日に開催された、西中国部YYYフォーラムの実施報告書をご紹介します(報告書は次ページから)。

YYYフォーラム開催にあたり、西日本区の皆様にご協力いただいております、YMCA サービス・ユース資金から支援を行っております事をご承知おき下さい。

#### ・御存知ですか? 学生YMCA

学生YMCAは、YMCA活動の中で、全国の大学及び学生寮、また専門学校を拠点にした学生中心の活動です。現在、全国には10の学生YMCA寮を含め34のグループがあり、約450名の学生が参加しています。学生たちの関心に基づいたボランティア活動やフィールドワーク等のプログラムを全国各地で行っています。

4月27日に学生YMCAのイベントが開催されます。詳しくは最終ページをご覧ください。

## 2018-2019 年度西中国部

### YYY フォーラム報告書

2019 年 4 月 17 日

Y サ・ユース事業主査代行

辛島清孝（福山クラブ）

- 実施日： 2019 年 4 月 13 日(土) 14:00~16:00
- 実施会場： 広島 YMCA
- 参加者： 33 名 (YMCA スタッフ、ユース 1 名、ワイズメン)
- 事業目的： 広島 YMCA は毎年春にユースリーダーの育成とボランティア活動の実践として専門学校生や大学生をフィリピンのワークキャンプに派遣しています。これは 1991 年のフィリピン台風で被害を受けた地域のための施設の補修、ストリートチルドレンへの食事の提供、そして子供たちとの触れ合いなど奉仕活動を通じて国際的な社会貢献を行っています。

本年度は 3 月 14 日から 3 月 28 日までの 15 日間の日程で 7 名が派遣されました。西中国部では、彼らが活動で学んだ経験や知識をワイズと YMCA スタッフで共有するために広島 YMCA 国際コミュニティセンター (GCC) と共催でフォーラムを開催いたしました。

またこの機会にユースと Y スタッフの交流を兼ねてボウリング大会と懇親会を合わせて開催いたしました。

#### ○事業内容：

プログラムの順に従って要旨を報告します。

##### 1. 谷本部長挨拶：

ワイズメンズクラブの現況と役割について説明し、特に Y-Y-Y の連携を強め、本日の YYY フォーラムでの学びの機会を役立てましょう。

##### 2. 広島 YMCA 殿納総主事挨拶：

昨年 7 月の西日本豪雨災害に際して、西日本区と台湾区からのご支援に感謝申し上げます。本年度から広島 YMCA の GCC 事務局会議に Y サ・ユース主査に参加していただき共にプログラムに作っていきます。そしてアジアからの留学生の為の子供食堂を作る計画です。またこれらの活動を通じて YMCA のスタッフの皆様ワイズとその活動を知っていただく努力を行う。

##### 3. 人見主任の挨拶：

ワイズメンズクラブの会員は YMCA の会員でもある。ワイズと YMCA はよりよい世の中づくりのために活動している。地域社会の課題を見つけ、ユースはその改善のために最前線で活動を行っている。そのため大切なのはユースとワイズの双方向のコミュニケーションである。

#### 4. フィリピンワークキャンプの報告

実施責任者：GCC中奥事務局長（国際コミュニケーションセンター）

- ① 派遣先：フィリピン セブ島の位置を説明
- ② 経緯：1992年から継続的に実施している広島YMCAのプログラムである。
- ③ 目的：YMCAの海外の広がりを活用し、“将来役立つグローバルな経験をとおして「主体的に考え、行動することができる」若者を育てること。
- ④ 活動報告：
  - ・セブYMCAと共にスラム街などで、ストリートチルドレンや路上生活者への炊き出しと交流
  - ・セブYMCA、ホノルルYMCA、ホノルルロータリークラブ、ハワイの大学からの参加者等と共に、2013年に台風30号で被災した地域のギムヤビタン小学校のエントランス舗装、校舎のペンキ塗り、環境整備、国際交流など
  - ・フィリピンの異文化体験と体験したことでこれから何ができるか。
- ⑤ 実施報告—スクリーンの写真を見ながら
  - ・9名の応募から7名を選抜して、3日間の事前研修
  - ・渡航経路の説明
  - ・日々の活動の説明
  - 炊き出し食材の購入と料理
  - シャワーを浴びれない衛生状態の悪い子供たちに広島YMCAで集めた使用しなくなった水着を与えてプールに入れる
  - 学校を補修する作業
  - 文化交流—Japanese Nightでの踊りの披露
- ⑥ 4年前にもユースで参加した現YMCAスタッフ伊豫谷さんの感想  
前はマヤにある壊れた小学校の補修を行ったが、今回訪れてみてきれいに整備されていたのに感激した。

#### 5. フィリピンワークキャンプの発表内容

広島YMCA 専門学校社会体育科2年 辻 拓実さん

- ① 参加者：広島女学院大学生5名、福山平成大学生1名、広島YMCA専門学校生1名の計7名
- ② 初めての海外渡航なので不安でいっぱいでした。
- ③ マニラ空港で4時間、セブ空港で1時間待ちで何もすることがなく大変でした。
- ④ ストリートチルドレンと折り紙や縄跳びで遊び、楽しんでもらえました。
- ⑤ ホノルルYMCAの参加者と一緒にストリートチルドレンと路上生活者への炊き出しを行った。全部食べてもらった。
- ⑥ マラカスクワ島での災害復興支援で島に到着した時多くの子供たちが歓迎してく

れた。

- ⑦ 作業は材木を高台に運ぶ、地面を平らにする、ペンキ塗り、土を運ぶ、セメントと土を混ぜる、セメントを作るのは初めての体験
- ⑧ 作業を行っていくうちに皆と仲良くなっていった。
- ⑨ 毎晩それぞれのチームの催し物があった。日本メンバーは DA PUMP の USA を踊ったり、英語版のラジオ体操、ピコ太郎の物まねをして日本の文化を伝えるため頑張っておし物を考えた。
- ⑩ ヤングマンはみんなと踊り盛り上がりました。子供たちやホノルルのメンバーも喜びました。
- ⑪ 現地の先生方の **Teachers' Night** には保護者の方も来てダンスを踊りました。日本ではこのようなことはないので文化の違いを感じた。
- ⑫ ホノルルメンバーの **Hawaiian Night** は一緒に踊ったり、ウクレレの演奏でみんなが歌った。
- ⑬ 4日目は子供たちがお化粧をして出演
- ⑭ 最後の日は地元の人たちの **Philippines' Night** 一番盛り上がった。
- ⑮ 残りの日程はリゾート地で過ごしワークの疲れをとった。
- ⑯ ワークキャンプに参加してみた感想

大勢の人の前に立つのは苦手でしたが、参加して楽しい気持ちになった。自分で考えられるようになった。今後はフィリピンがどういうところか伝えたい。誰かの助けになるようなプログラムにはぜひ参加したい。最後にこのような経験をさせてくれた両親、現地の人々、YMCA と関係者に感謝します。

#### 質疑・応答

##### ●谷本部長

1. 子供たちとのコミュニケーションはどのように取ったのか？英語かタガログ語？

回答 ⇒ 学校へ行ってる子供は英語がペラペラでしたのでコミュニケーションは出来た。

ストリートチルドレンは英語は出来ないので片言の単語と身振り。

2. ホノルル YMCA のジョイントでワイズの役割はどうか？

回答 ⇒ セブのワイズは聞いたことはない。むしろセブロータリーが広島とホノルルと連携を取っている

今後はワイズから申し込みがあれば受け入れたいけど、作業は非常にハード

3. 広島 YMCA の GCC へはワイズから寄付しているが、ワークキャンプのために使われているのか？

回答 ⇒ もちろん使用されていますが、国際協力募金と青少年育成基金に寄付していただいている。青少年育成基金の中からユースのスタッフの経費に使用させてもらっている。直接ワークキャンプのための寄付があれば全額使用させてもらう。

ワイズにご協力していただいているお金はいろんな用途に活用させてもらっている。例えばワイズの部長杯ゴルフコンペからいただいた寄付金も青少年育成基金に入れている。

●阿武ワイズ（東広島）

1. フィリピンでの体調はいかがでしたか？

回答 ⇒ 辻さんはお腹が痛かった。他のメンバーはほとんど体調を崩した。

●谷本部長

1. 薬は持って行かなかったのか？

回答 ⇒ スタッフが薬をもっていった。正露丸、鎮痛剤は持参したが、風邪薬は持参しなかったが必要と思った。現地の方がこれを飲めとって薬をいただいた。

●スティーブ・コラック（YMCA スタッフ）

1. 食事サービスに来る子供たちについて知りたい。親がいるのか？

回答 ⇒ 夜が明けて準備をしているときに早くから来る子供たちははだしで真黒なストリートチルドレンで、セブ YMCA がバスを出して集めてくるのがバラックに住んでいる子供たち。2種類に分けられる。

●川口ワイズ（広島）

1. ワイズからチューブの歯磨き粉を寄贈しているが渡してるか？

回答 ⇒ 歯ブラシは今回も学校の生徒全員に渡しています。

2. 何か必要なものがあれば教えてください。

回答 ⇒ 水着が必要

●殿納総主事

1. フィリピンのワークキャンプは 1982 年にレイテ YMCA と福山 YMCA がパートナーになった時にタクロバンで始めた。しかし現在レイテの YMCA はなくなった。それを広島 YMCA が引き継いでいる。

●中奥 GCC 事務局長

広島 YMCA は社会をよりよくするための活動を行っている。青少年育成活動、平和セミナーなど。今後ともワイズメンズクラブのご協力を賜りたい。

## 第2部 親善ボウリング大会

時間：16：30～18：00 会場：パークレーン 参加者：20名

## 第3部 懇親会

時間：18：30～20：00 会場：中華料理レストラン「夢」 参加者：19名

1. 開会の挨拶・乾杯 藤川次期部長
2. YYY フォーラムの講評 人見 Y サ・ユース事業主任
3. 閉会の挨拶 谷本部長

## 写真



谷本部長の開会宣言



人見主任の挨拶



ユースリーダー辻さんの発表



ボウリング大会の表彰式



懇親会

ワークキャンプの活動の写真はこちらです。

<https://www.hymcagcc.org/%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%AA%E3%83%94%E3%83%B3%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%B3%E3%83%97/>

# Uni-Y & i-COSY 主催 ユースによる国際理解の集い & お楽しみ屋上パーティ in 学院高校



Uni-Yは大阪YMCAの大学生のグループです。国際交流などの楽しい企画がいっぱい！

i-COSYは高校生の国際協力ボランティアクラブです。フェアトレードのコーヒー販売をしています。



平和・国際理解ワークショップ及びYMCA内外の様々な方々との交流パーティを開催します。Uni-Yやi-COSYに入部していない生徒、学生及びワイズメン、大阪YMCA会員など、YMCAに関わる全ての方の参加をお待ちしています。

日時 2019年4月27日(土) 13:30~17:30  
場所 YMCA 学院高等学校 ※教室は当日の掲示をご覧ください。  
住所：大阪市天王寺区生玉寺町 1-3  
電話番号：06-6779-5690



内容 13:00~ 受付開始  
13:30~ 開会アイスブレイキング  
13:45~15:30 国際理解講演とワークショップ  
発展途上国や紛争当事国の「貧困」の現状と子どもがおかれている立場について考えます  
16:00~17:30 お楽しみ屋上パーティ (BBQ&なんでもたこ焼き)  
参加者紹介、アピールタイムなど

参加費 成人・社会人：500円 大学生：200円 高校生：100円

持ち物 筆記用具 たこ焼きに入れたい具材、調味料の持ち込み歓迎！！

申込 4月23日(火)までに各校窓口・オフィスまで申し出てください。(電話でも可)

担当スタッフ YMCA 学院高校 : 小林  
大阪YMCA 国際専門学校 : 齋藤、鈴木

アクセス 地下鉄 谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅  
3番出口より徒歩4分。

近鉄 大阪・奈良線「上本町」駅より徒歩7分。

